

～只見アウトドア観光の  
ベースキャンプ拠点へ～

多くの客層を取り込む  
ベースづくり

- キャンプ愛好家
- 町内キャンパー
- 町外キャンパー (関東・新潟)
- 訪日キャンパー (韓国・台湾)
- 非キャンプ愛好家
- 関東圏、新潟県
- インバウンド旅行者

**旅行村**  
→ベースキャンプZone

- 只見の独自性をもつ観光宿泊拠点
- 町民の憩いの場・にぎわいの場

**田子倉湖**  
→秘境・絶景Zone

- 秘境ツアー
- 湖上ピクニック
- 旅行村と連動したプログラム

**只見湖**  
→レクリエーションZone

- やすらぎの場、園地利用
- 湖面活用 (釣り/カヌー)
- 湖上グランピング

3拠点連携



旅行村のハード整備を行い只見湖右岸、田子倉湖は体験プログラムなどソフトの充実を図る。



▲旅行村・テニスコート



▲旅行村・管理棟

―自然首都・只見

アウトドア拠点構想

JR只見線の鉄路復旧や国道289号の全線開通を数年後に控え、只見町を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。

交通網の整備により、これまでの「人」の流れに加えて、新潟空港からの外国人旅行者(インバウンド)など、新潟方面からの新しい流れが生まれようとしています。この変化を見据え、只見町では「青少年旅行村」を来年度(平成30年度)にリニューアルし、田子倉湖や只見湖などを含めたアウトドア観光の推進を計画しています。

然し文化を観光誘客に活かし、

交流人口の拡大に向けて地域づくりを進めるもので、スノーピークのブランド力と自然首都・只見の魅力を掛け合わせた「新しいアウトドア観光」を創出していくものです。

―これまでの取組と

今後の計画

アウトドア拠点整備事業は、昨年度に青少年旅行村を中心に、只見町が誇る自然資源を活用したアウトドアコンテントとの連動を図る基本構想を策定しました。今年度は基本計画を策定し、来年度リニューアルを予定している旅行村の改修計画や只見湖、田子倉湖の活用方法について検討しています。

今年5月には、只見町と東北財務局福島財務事務所と





▲上／6月、田子倉湖でモーターボート体験  
中／9月、田子倉湖でカヌー体験  
下／テントで実施したワークショップ



▲改修により交流空間を設ける予定の旅行村管理棟内（写真イメージ）



▲自然の中、手づくりの結婚式が行われたアウトドアウェディング。  
旅行村では初の結婚式となった

の共催により、地域経済活性化フォーラムを開催し、町内企業や近隣の金融機関、地方公共団体が集まり、アウトドア観光の推進による交流人口拡大に向けての意見交換や（株）スノーピーク山井社長による基調講演を行いました。

また、6月にはアウトドア有識者やJTBなど旅行関係者によるモニタリングキャンプを行い、旅行村や田子倉湖などを視察しました。それぞれのアピールポイントや活用方法などについて意見交換を行ない、参加者からは「只見町が優れたアウトドアフィールドである」という意見が多く出されました。

9月にも一般参加者や台湾、韓国旅行関係者参加のモニタリングツアーを実施し、旅行村をベースキャンプ地として、田子倉湖でのカヌー体験や旅行村の古民家で郷土料理を体験し、各参加者の目線から感じたことを計画づくりに反映させています。

10月にはモニタリングキャン

プに参加された東京の方が只見の自然に魅了され、「アウトドアウェディング」として、野外での結婚式を挙げられました。

来年度、計画されている旅行村のリニューアルは、東バンガローの改修や管理棟の内装改修をはじめ、古民家、西バンガローなど既存施設の改修に加え、テニスコートを芝生張りのイベント広場に改修するなど、さらなる町民の利用や、キャンプをはじめとする観光客の交流拠点として、整備を進める予定です。

#### ―最後に―

自然首都・只見を宣言し、ユネスコエコパークとして登録された豊かな自然や地域の特徴を活かし、交流人口拡大、移住・定住促進、そして只見を世界中の人々が訪れるアウトドアフィールドにすることを目指し、魅力ある地域づくりを進めていきます。